令和８年度 第２回定例記者会見市長挨拶

令和８年８月19日

記者の皆様におかれましては、お忙しい中 定例記者会見にご出席をいただき、誠にありがとうございます。

また 日頃から、報道各社の皆様方には、市政に対しご協力を賜り、改めて厚く御礼申し上げます。

さて、先日開催いたしました「第127回水郷おみがわ花火大会」は、香取市合併20周年の記念大会として、打ち上げ数を昨年の8,000発から1万発へと拡充して開催いたしました。

当日は、市内外から大変多くの皆様にお越しいただき、会場は大いに賑わいました。

入込客数は11万6,000人となり、昨年の9万7,000人を1万9,000人上回る結果となりました。

ご来場いただいた皆様をはじめ、大会の開催にご尽力いただいた関係者の皆様に、改めて感謝申し上げます。

それでは、本日の会見内容に移ります。

本日の会見では、はじめに私から、議案や行政情報のうち、特にお伝えしたいポイントを申し上げます。

その後、補正予算に計上した事業の概要やイベント情報について、

担当部長等から説明いたします。

はじめに、香取市議会９月定例会についてです。

今定例会は、会期を８月２５日から９月１８日までの２５日間の予定で開催いたします。

本定例会に提出する案件は、補正予算案件が５件、条例案件が４件、決算の認定案件が１１件の　計２０件であります。

また、報告案件といたしまして、令和７年度に終了した継続費の精算など、計１０件を提出いたします。

次に、予算案件について、ご説明いたします。

今回の補正予算（案）の主なものとして、まず、早期不妊検査費助成金に150万円を計上しております。この助成金は令和8年10月1日から開始する予定の新規事業です。

この事業の目的は、晩婚化や晩産化に伴い、妊娠・出産に係るリスクが高まる中で、子どもを望む夫婦が早期に不妊検査を受けやすい環境を整えることです。この助成により、必要に応じて適切な相談や治療への橋渡しを支援するものです。

早期不妊検査費助成事業は、不妊症かどうかを診断するために必要な検査費用を助成対象としています。具体的には、医師が「不妊症の診断に必要」と認める検査が対象で、助成額は自己負担額のう

ち夫婦1組につき最大3万円、1回限りとしております。

本事業の財源については、全額が千葉県からの補助金となります。

なお、現在、香取市では既に独自の不妊治療費等助成事業を実施していますが、今回新たに開始する早期不妊検査費助成事業と併せて実施することにより、子どもを望む夫婦にとっては、不妊の早期検査から治療に至るまでの一連の費用が軽減されることになり、安心して妊娠・出産の準備ができるようになると考えます。

次に、香取市では、ふるさと納税の寄附額をさらに増加させるための取り組みとして、「楽天ふるさと納税」などの複数のふるさと納税ポータルサイトを利用した検索連動型広告の強化を図ります。これに伴い、補正予算において、広告料として990万円を計上いたしました。

検索連動型広告とは、インターネットで返礼品などを検索した際、設定したキーワードに基づいて、香取市の返礼品に関する広告を、多くの方の目に留まりやすくする仕組みです。これにより、香取市の返礼品をより多くの方々に認知していただける可能性が高まります。特にふるさと納税の利用者は返礼品の魅力に注目する傾向が強いため、話題性や品質に優れた香取市の返礼品をタイムリーにアピールすることが寄附額増加の重要な鍵となります。

今回の予算計上は、香取市のふるさと納税事業のさらなる活性化

を目指し、多くの寄附をいただくことで地域振興や重要な市民サービスに還元していこうとするものです。これまで香取市では、地域の特産品を中心に返礼品を工夫し、寄附者の方々に地元の魅力を存分に感じていただける取り組みを進めてきました。今後は、この取り組みを検索連動型広告を通じてさらに前進させ、全国の皆様に香取市の魅力をお届けすることを目指します。

次に、千葉県と市町村が共同で導入する「千葉県被災者支援システム」に805万4,000円を計上いたしました。本システムは、現在、県主導で、全県導入を目標に取組んでいるもので、市が行う被災者の生活再建に係る業務全体を、庁内各課で横断的に共有・管理するほか、他自治体との応援・受援体制の強化を図り、迅速かつ的確な被災者支援を実現するためのものです。

本システムの導入により防災DXを推進し、被災者支援のボトルネック解消や受援体制の強化など、大規模災害への対応力向上に努めてまいります。

次に、主なイベントの紹介になります。

香取市では令和8年12月13日に「第18回香取小江戸マラソン大会」が開催されます。今年の大会は、大きくリニューアルをいたします。メイン会場およびスタート・ゴール地点が、これまでの「香取神宮」

から佐原駅前の複合施設「コンパス」に変更されるとともに、コースも一新されました。この変更により、すべての部門で、日本遺産に認定されている歴史的な町並みと江戸情緒が調和する香取市ならではの景観を楽しみながら走ることができる大会となります。

特に10km部門では、佐原の風情ある町並みを駆け抜け、勝負の神が宿る香取神宮の朱塗り(しゅぬり)の大鳥居(おおとりい)前(まえ)で折り返す魅力的なコースが設定されました。このコースを走ることで、参加者の皆様には香取市の歴史と文化に触れながら、特別な時間を過ごしていただけることと思います。

さらに、今回は大会を盛り上げるため、パリオリンピック女子柔道48キログラム級 金メダリストの角田(つのだ)夏実(なつみ)さん、そして、ものまねアスリート芸人のM(えむ)高(たか)史(し)さんをゲストランナーとしてお迎えします。また、香取市出身のご当地招待ランナーの方々にもご参加いただく予定です。

現在、エントリーを9月30日まで受け付けております。ぜひ多くの皆様にご参加いただき、香取市の魅力あふれる町並みを巡りながら心躍るひとときをお楽しみください。報道各社の皆様にはぜひ周知・告知にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

私からは、以上となります。

本日は、よろしくお願いいたします。